



## ふれあい遊び

同じクラスで過ごしているとはいえ、ひっつきもっつきなどのふれあい遊びを初めてするときには、友達と手を繋ぐこともどこか恥ずかしそうな様子うかがえました。一緒に手を繋いでいる中でお友達が大きく手を振ると、自分にもその揺れが伝わってきて、楽しくなって思わず目を合わせて笑い合ったり、時には少しふざけてみたり。遊ぶ中から少しずつ相手のことを知り、「友達と一緒に楽しい」という気持ちも膨らんでいったようです。

ペアでのふれあい遊び、グループでのふれあい遊びなど、さまざまな友達と触れ合うことで、今までは一緒に遊ぶ機会がなかったお友達とも遊ぶようになったり、誘い合ったりする姿も見られるようになりました。

## 表現することを楽しむ

クラスの中で歌を歌ったり、踊ったりを楽しんでいるばなな組さんですが、いつも過ごしている保育室よりかなり広いホールの中で、そして目の前にお客さんがいる中で歌ったり、踊ったりするのはちょっぴり恥ずかしそうな様子。何度か発表会活動をする中で少しずつ場や雰囲気にも慣れて、今では張り切って発表してくれるばなな組さんです。

表現遊びも大好きで、歌の中で動物の名前が出てくると思い思いに動物の真似や動きをして見せてくれます。友達の動きを真似てみたり、新しい動きを作りだしたり。リズム遊びではピアノの音量やメロディーに合わせて身体を大きく動かしたり、音に合わせて止まったり、リズムを感じながら身体表現を楽しんでいます。



## どきどきわくわくお当番&朝の会

2学期から始まったお当番活動。お当番さんはみんなの前に立って自分のお名前や好きな遊び、好きな食べ物などの質問に答えます。また、お当番さんの役割は朝の会での発表だけではなく、給食時間ではエプロンを着て配膳の手伝いをしたり、みんなの前で食前・食後の挨拶をしたりしています。

子どもたちにとって「お当番」は特別感があるのか、「明日お当番だ!」と、自分の番が回ってくるのが楽しみな様子。当番活動を通してお手伝いすることに興味を持ち、以前より玩具の片付けも意欲的に取り組んでいる子どもたちです。

ときには先生の援助を頼りながら、「できるだけ自分の力でやってみよう」、「役割を果たそう」という思いやり遂げる満足感をこれからも味わってほしいと思います。



## 体を使って遊ぶ

園庭に行くと「しっぽとりしよう!」「わたし鬼さんね」「ぼく逃げるよ」と自分たちで役割も決め、ルールを守りながら園庭を元気いっぱい走るばなな組さん。ときにはお兄ちゃんお姉ちゃん達の輪に入り、負けずに一生懸命追いかける姿が見られます。

2学期はジャングルジムや鉄棒などの遊具にチャレンジする子どもたちも増えてきました。ジャングルジムのてっぺんで座っている子を見て、自分もやってみたいと刺激を受けたり、「次は手をこっち」など登り方を教え合ったりする姿も見られます。鉄棒にぶら下がると「先生10数えて!」と長い時間ぶら下がることもできるようになり、下りると自慢げな表情を見せてくれます。

体を動かす楽しさや心地良さを味わいながら、たくさんの挑戦を重ねてほしいです。